

津波避難マップ作成の手引き

平成 2 8 年 1 月

三重県防災対策部防災企画・地域支援課

1. 避難場所までの避難経路を検討し、避難経路図の画像と、目印となる写真を準備する

- 地震発生時に避難することになっている避難場所までの経路を、実際に歩いて確認します。その際、避難場所までかかった時間を記録します（津波避難マップに記載するため）。
- 避難経路上の、目印になる場所を5カ所ほど選び、写真を撮影します。（津波避難マップに掲載するため）。
- 避難経路上に、地震で崩れる可能性のあるブロック塀や、土砂災害の恐れのある急傾斜地など、避難の妨げとなるものがあるかどうか確認します。あれば、危険個所の位置を記録しておきます。
- 避難路が障害物で封鎖されることを考慮し、可能であれば、複数の避難路を検討し、さらに、危険個所の有無などを踏まえて優先順位を決めます。
- 宿泊施設から避難場所までが入った地図データを用意し、パソコンで避難経路を追加して、津波避難マップの素材となる「避難経路図の画像」を作成します。

（※地図データの用意や、避難経路の追加作業について支援等が必要な場合は、市町または県の防災担当部署へご相談ください。）



自動販売機は倒れてこないか



瓦は落ちてこないか



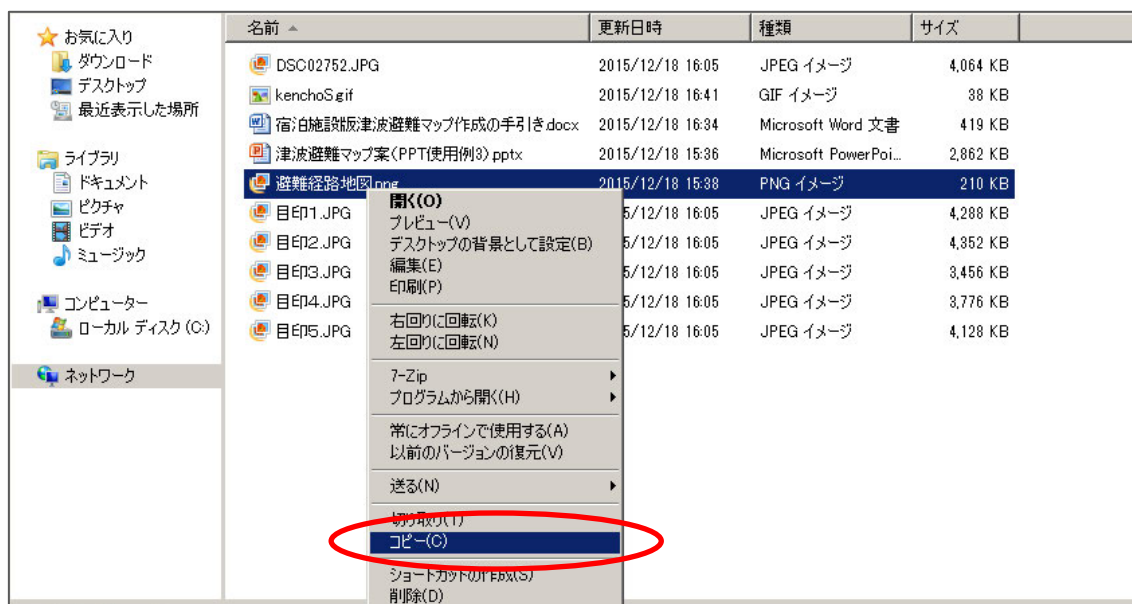
ブロック塀は崩れてこないか

2. 津波避難マップのひな形に、施設名等を記入する

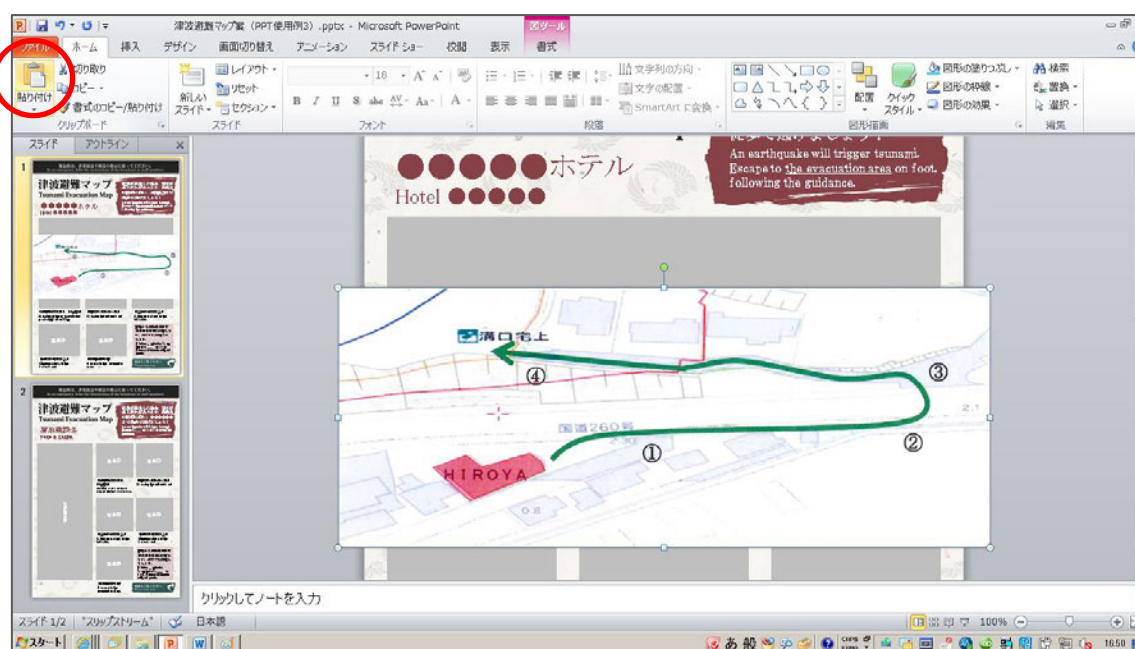
- 避難経路図の画像の形に合うように、津波避難マップのひな形を選択します。
(避難経路図の画像に合う形のひな形がない場合は、自由記載のものを使用します。)
- ひな形に、宿泊施設および避難場所の場所を日本語と英語で入力します。
(避難場所の名前が個人宅であるなど記載がふさわしくない場合は、「避難場所」と入力します。)



3. ひな形に、避難経路図の画像を貼り、避難経路を追記するとともに、目印番号等の情報を追加する

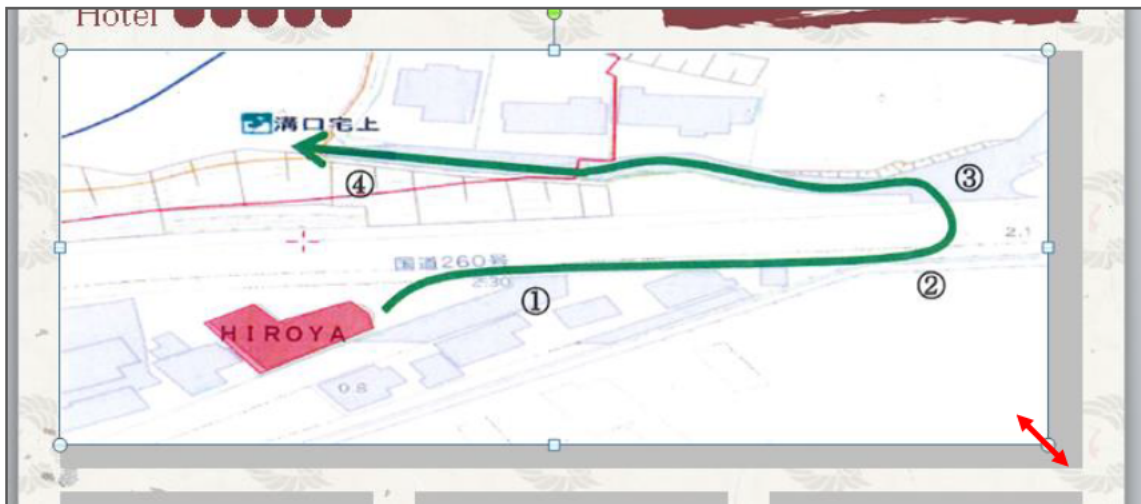


避難経路図の画像を選択して、右クリック→コピー

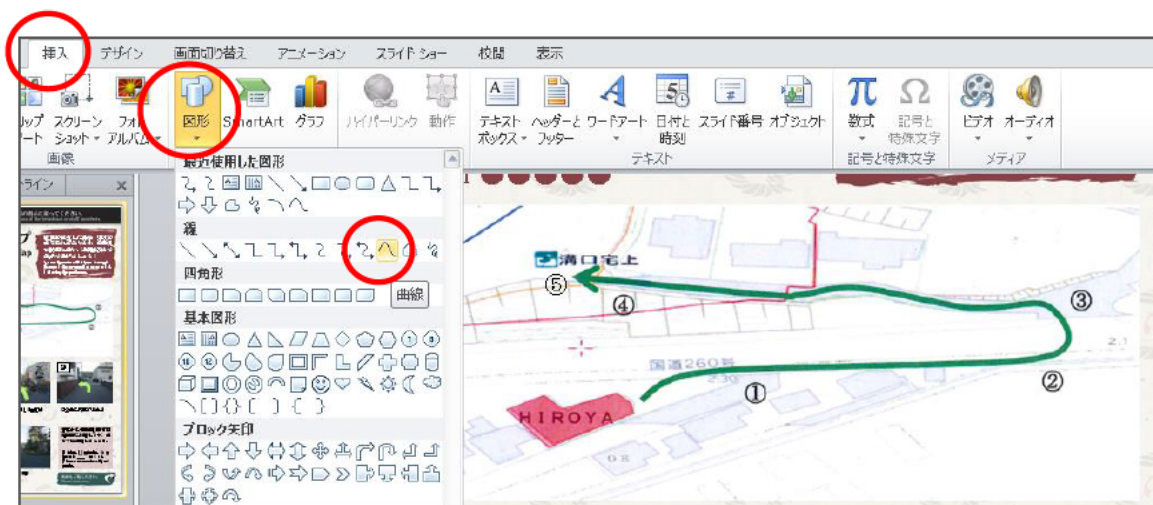


Power Point の「貼り付け」ボタンをクリックして画像を貼り付け

※画像ファイルを PowerPoint の画面内にドラッグ&ドロップしても、画像の貼り付けができます。



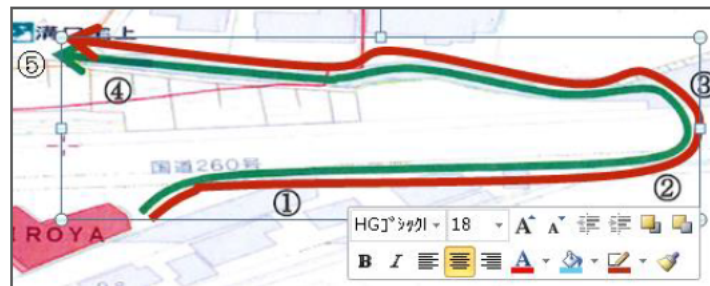
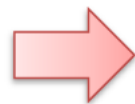
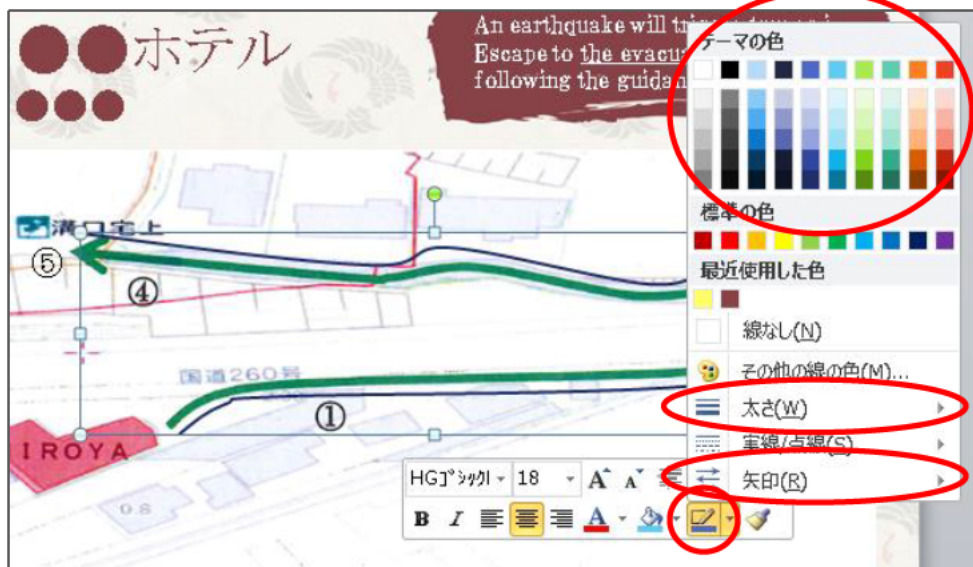
灰色で示された避難経路図の配置場所を目安にして、貼り付けた画像を移動し、サイズを調整します。避難経路図の位置が決まったら、灰色の図形を削除します。（図形を選択して、キーボードの「DEL」キー）



地図上に避難経路を追加する場合は、「挿入→図形→曲線」で経路を描き、曲線の太さや色を変更し、矢印をつけます。



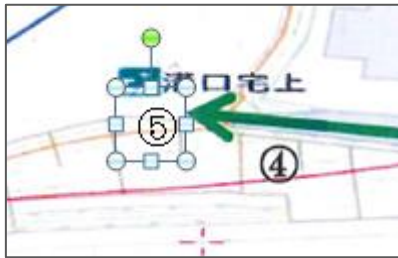
クリックするごとに曲線を曲げ、ダブルクリックで終点を作ります。



曲線の図形を右クリックし、「図形の枠線」から、色や太さを変更し、矢印をつけることで、避難経路とします。

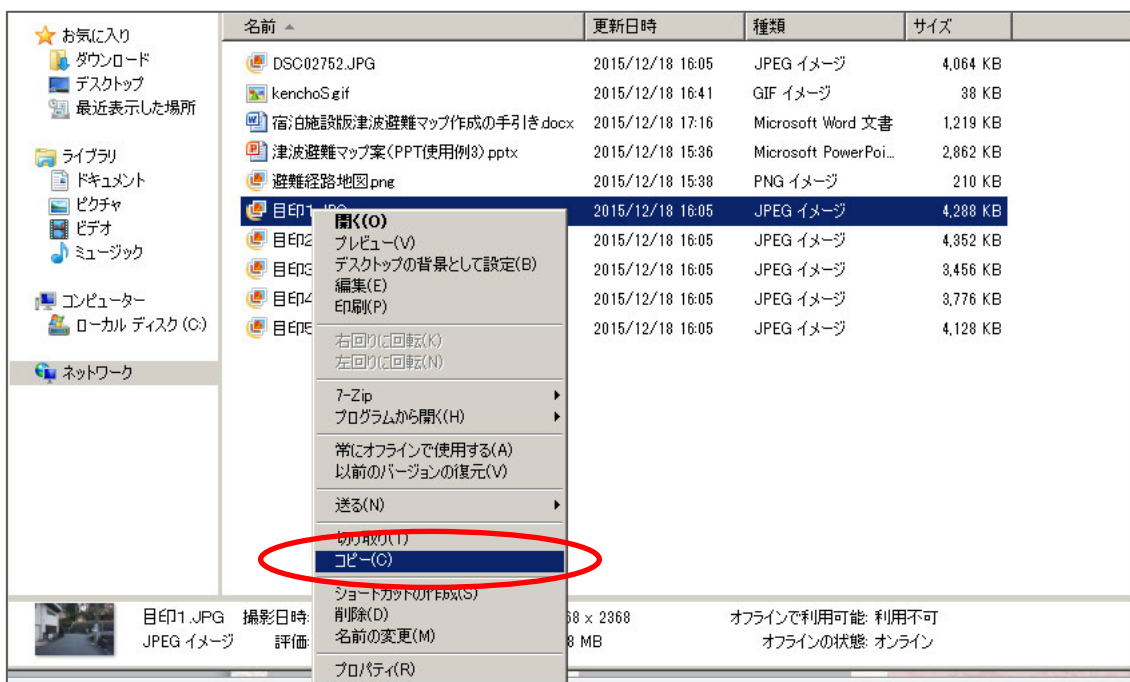


目印の番号を追加するには、まず「挿入→テキストボックス→横書きテキストボックス」をクリック

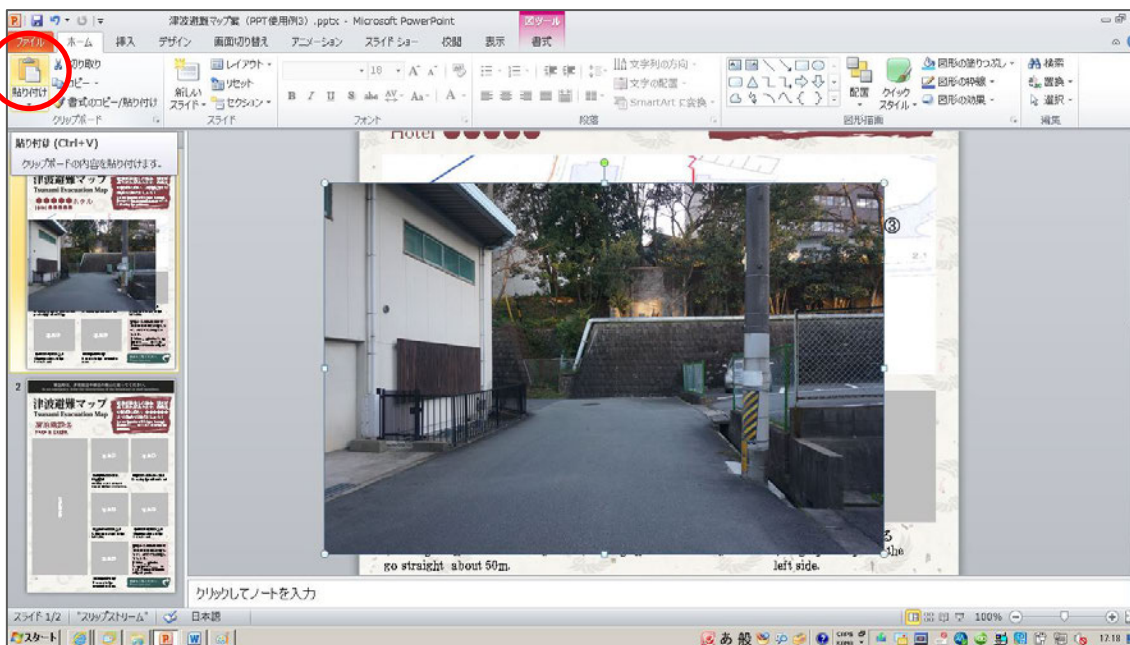


テキストを追加したい場所をクリックし、文字を入力する。テキストボックスの位置を微調整する。(例では目印番号「⑤」を追加し、避難場所に配置した。)
(※可能であれば、避難時に注意すべき危険個所なども、避難経路図が見つからない範囲で、図や説明で示しておく。)

4. ひな形に、避難経路上の目印となる写真を貼り付ける



目印となる写真を選択して、右クリック→コピー



Power Point の「貼り付け」ボタンをクリックして写真を貼り付け

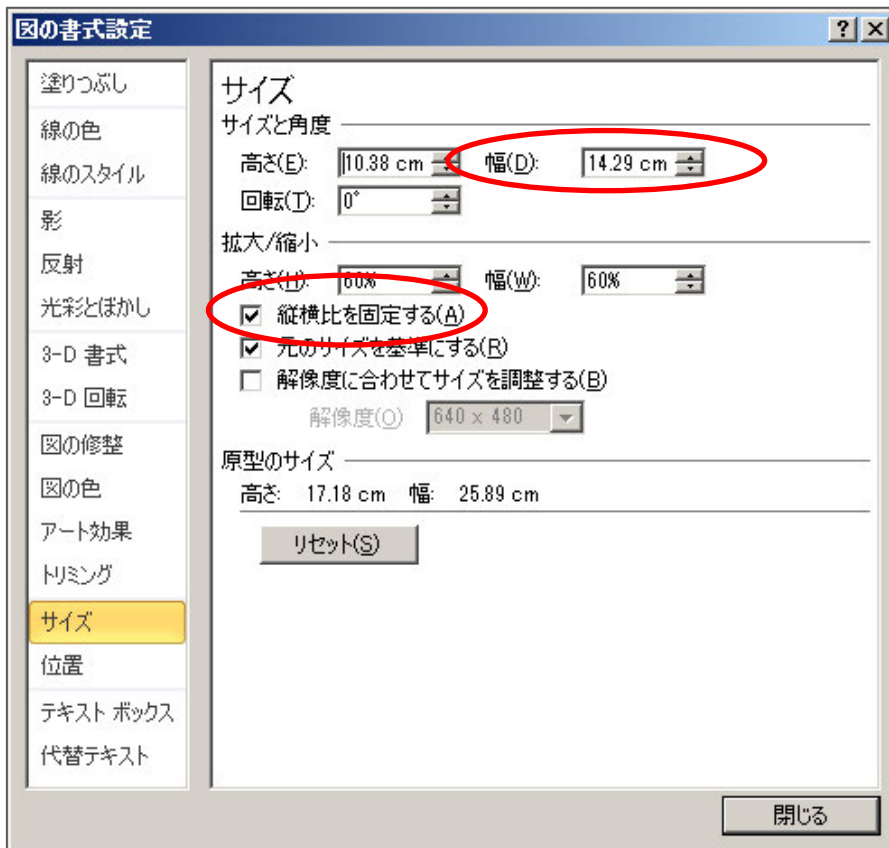
※画像ファイルを PowerPoint の画面内にドラッグ&ドロップしても、写真の貼り付けができます。



必要に応じて、トリミングで不要な部分を切り取ります。(書式→トリミング)



画像サイズを調整するため、画像上で右クリックして「配置とサイズ」をクリック。



- ① 「縦横比を固定する」にチェックが入っていることを確認
- ② 「幅」に 5.4cm と入力し、「閉じる」をクリック



灰色で示された写真の配置場所に画像を移動します。上下に余りが出るか、はみ出す場合は、トリミングで上下左右の不要部分を切り取って調整します。(高さや幅の一方だけを変更すると画像がゆがむため、トリミングで切り取り→「幅」を 5.4cm に合わせる、という操作をしてサイズを調整します。)

(※高さが 4.2cm になるようにトリミングで縦横比を調整すると良い。)

位置が決まったら、灰色部分を削除します。(図形を選択して、「DEL」キー)

写真の貼り付けとサイズの修正を繰り返し、目印の写真すべてを所定の位置に配置します。



それぞれの写真の位置がずれてしまった場合などには、複数の写真を選択し、書式→配置から、適当な整列方法を選んで整列します。

(※例では、上3枚を選んで、「上揃え」により整理している。このほか、上3枚を選んで「左右に整列」して等間隔に整頓する、上下の2枚を選んで「右揃え」あるいは「左揃え」により上側の写真に位置を合わせるなどすると、見栄えが良くなる。)

5. 写真に目印の番号と移動方向を示す矢印を追加する



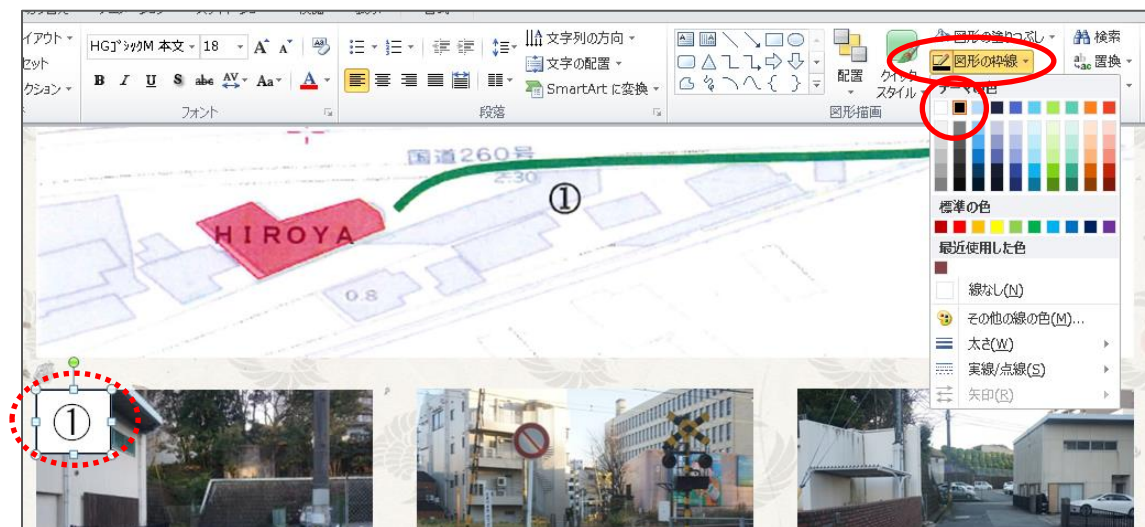
挿入→テキストボックス→横書きテキストボックスをクリック



写真の目印の番号を入力。



図形の塗りつぶしから、白色を選択。



横幅を調整し、図形の枠線から、黒色を選択。写真の左上に配置する。
同様の作業を繰り返して、①～⑤まで、写真に目印の番号を付ける。



挿入→ブロック矢印から、適当なものを選んで挿入し、移動方向を示します。



矢印を選択し、書式→図形の塗りつぶし・図形の枠線から、適当な色や枠線を選択してデザインに合わせます。(クイックスタイルから適当なものを選んで良い。)

①横断歩道を渡り、50m直進
Crossing at the crosswalk and
go straight about 50m.

②国道の反対側へ渡る
Crossing the national road.

③左手の坂道を上る
Going up a slope on the
left side.

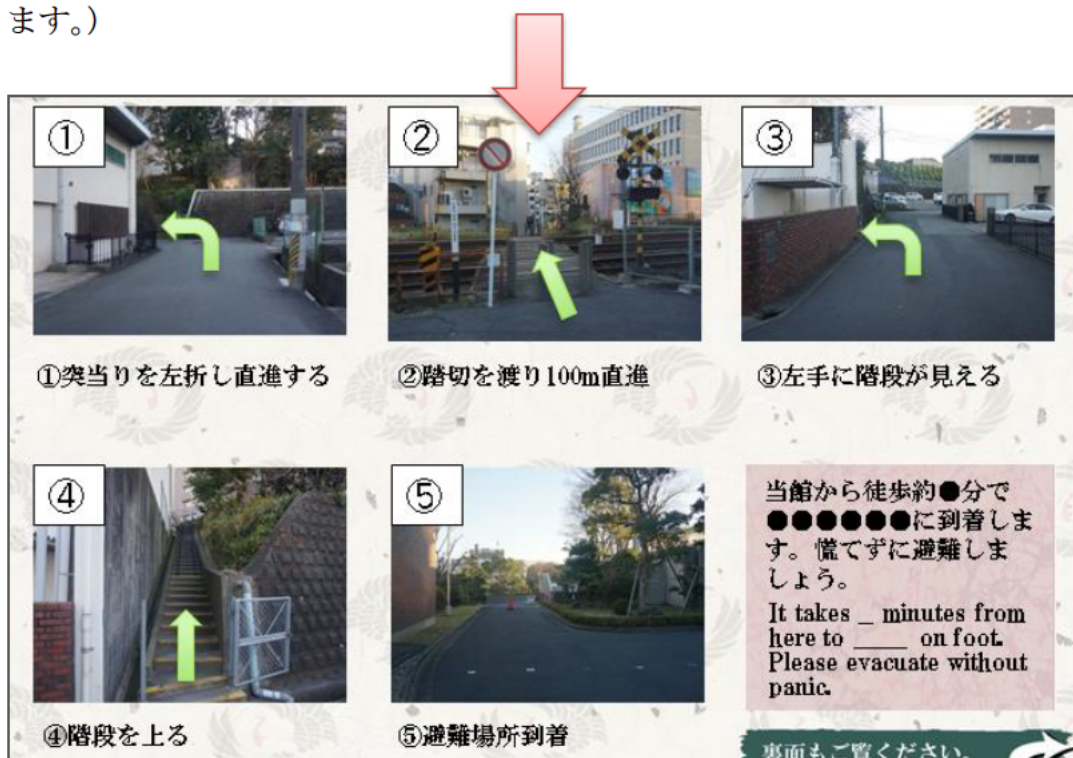
④林道の階段を上る
Climbing stairs in the
forest road.

⑤避難場所到着
You are in the evacuation
area.

当館から徒歩約●分で
●●●●●●●●●●に到着しま
す。慌てずに避難しま
しょう。
It takes _ minutes from
here to ____ on foot.
Please evacuate without
panic.

裏面もご覧ください。
Please turn over.

(※英文は、3月にすべての宿泊施設の津波避難マップを集約して翻訳に出します。)



7. 避難場所までの時間を追加する

The diagram consists of two rectangular panels, one on the left and one on the right, connected by a large red arrow pointing from the left panel to the right panel.

Left Panel:

当館から徒歩約●分で
●●●●●●に到着しま
す。慌てずに避難しま
しょう。

It takes _ minutes from
here to ____ on foot.
Please evacuate without
panic.

Right Panel:

当館から徒歩約10分で避
難場所に到着します。慌
てずに避難しましょう。

It takes 10 minutes from
here to ____ on foot.
Please evacuate without
panic.

避難場所に到着するまでの時間と、避難場所の名前を記入します。

(避難場所の名前が個人宅であるなど記載がふさわしくない場合は、「避難場所」と入力します。英語が不明な場合は空欄で構いません。)